

活性化委員会・遊技機検討WG

日工組、4タイプを提案「初心者へ」や「玉の動きを」

遊技産業活性化委員会の遊技機検討WG（ワーキンググループ）（リーダー・竹田隆全日遊連機械対策副委員長）が10月20日、全日遊連会議室で開かれ、全日遊連、日遊協、日工組、日電協、同遊会、余暇進、PCSAから11人が参加した。

日工組委員から多種多様な遊技機（パチンコ機）の開発について4つのタイプが提案された。1つ目は「初心者でも分かりやすい遊技機」。セブン機で潜伏確変がない。2つ目は「新しいジャンルの遊技機」。特殊なセブン機で、確変中に小当たりが頻繁に発生して出玉



日工組から提案があった遊技機検討WG

を増やしていく。3つ目は依存問題にも対応し、「やめ時を分かりやすくした遊技機」。出玉なし、時短なし確変を搭載するが、一定の変動回数で確率変動状態であることを遊技者に知らせる。4つ目は「盤面で玉の動きを楽しめる遊技機」。セブン機にラウンド継続のVゾーンを設けた機械で、最初は

「盤面で玉の動きを楽しめる遊技機」。セブン機にラウンド継続のVゾーンを設けた機械で、最初は凶柄揃いで大当たりし、2R以降はアタッカー内のVゾーンで大当たりラウンドを自力継続していく。受け入れ目標の検討も

1つ目以外は現在の内規ではできないので、行政への打診が必要となる。日工組は、当面1つ目と4つ目についてメーカー各社は開発に前向きであること、1つ目は各社がある程度仕様を統一して取りかかりたいこと、4つ目は製造に時間がかかること等を報告した。一方で、ホール側もこれらの機械の導入目標を掲げるべきだとの意見があった。

WGの内容と方向性

また、日遊協委員から、委員が

共有しておくべきWGの検討内容が提案された。WGの目的としては、ファンの拡大を大目的とした上で、「遊べる遊技機を始めとする多様な遊技機の開発とホールへの導入促進」「遊技機の評議会（遊

活性化委員会・遊技産業PRWG

初会合で具体案討議「試打デモ」や「定量性」など

ら16人が参加した。

事務局からWG設置までの経緯と役割の説明があった後、各団体の委員がWGに対する考え方や事前に準備した具体策を述べた。具体策としては、既存ファンが新規ファンを連れてくるファンミーティングの企画、休止者の呼び戻しや依存対策の1つとしての定量制の活用、公共スペースでの試打デモンストレーションやネット上でパチンコホール疑似体験、快適ホールの格付け（パチンコミシユラ）等が提案として出され、この後フリートークキングを行った。

同WGの目的は、新たなファンの創出とすそ野を広げるキャンペーン、誤った情報によるネガティブイメージの払拭、業界の正しい姿のPRの検討等となっている。



各委員が具体策を述べたPRWG

遊技産業活性化委員会の遊技産業PRWG（ワーキンググループ）（リーダー・岸野誠人日遊協理事）は10月22日、全日遊連会議室で初会合を開いた。全日遊連、日遊協、日工組、日電協、全商協、回胴遊商、同友会、余暇進、PCSAが

第24回 北海道支部総会

「心意気を外に向かつて」 松谷支部長、決意と行動促す

日遊協北海道支部は10月6日、札幌市の京王プラザホテル札幌で第24回支部総会を開いた。

冒頭にあいさつした松谷明良支部長は「私たちの産業は全国に広がり、バッシングを受けやすい立場にある。先般、行政当局から

『札幌で15歳の少年がパチンコに負けた腹いせに器物損壊の事件を起こした』と指摘がありました。ホール経営者のひとりとして残念でなりません。従業員が注意してさえいれば起きない事件でした。また沖縄でも車内放置による幼児の死亡事故がありました。駐車場

のチェックをさらに厳しくしなければなりません。依存問題、カジノ関連の動き、広告宣伝問題など業界に対する風当たりは厳しいですが、日遊協は自ら先頭に立ってリーダーシップを発揮し、安心安全な真の健全娯楽とするために会員各位は心意気を外に向かつて示していただきたい」と訴えた。

藤井巖事務所長が平成25年度支部活動を報告し、伊東慎吾常務理

事が本部関連の活動報告と方針を説明した。最近、警察庁から出された回胴式遊技機の開発及び型式試験に関わる件について、本部の

茂木欣人風営法PTリーダーが日電協の発表した自主規制について解説した。

来賓として登壇した北海道警察本部生活安全部保安課、渡部泰光課長補佐が「行政の立場から見た遊技業界の現状について」と題して講話を行った。

最近の情勢を分析

篠原専務理事が講演

第2部としてセミナーが開かれ、篠原弘志専務理事が「風営法における諸問題について」と題して講演を行い、カジノの法案審議と関連して提起されてくる自民党議連の動き、パチンコ依存の課題と対策についての「焦点」を詳しく話した。

「状況を再吟味して」

庄司会長、危機感を強調

総会の締めくくりに庄司孝輝会長が「この何年も下り坂の状況に



北海道支部総会の冒頭にあいさつする松谷明良支部長



総会で現状を分析し、方針を示す庄司孝輝会長

北海道「健全営業推進セミナー」

636人参加で熱気

「接客」と「ゴト」で2講演

日遊協北海道支部（松谷明良支部長）が札幌方面遊技事業協同組合、札幌遊技業支配人会と共催する第5回「健全営業推進セミナー2014」は10月7日、札幌コンベンションセンターで開かれ、636人が訪れ会場は熱気に溢れた。

主催者あいさつの後、来賓として庄司孝輝日遊協会長が「パチンコ依存問題について、業界は責任を持って対処しなければならない。そのためにもこの業界は産業とし

しどうだったのか。よくよく再吟味して行く必要があります。いくら遊技機を作っても安心安全な遊びですよということを確認しなければ裾野は広がらない。産業全体として取り組んでこそ新しい時が来るのです」と強調した。

会場を移して懇親会が開かれ、佐藤邦昭北海道防犯協会連合会専務理事と伊豆正則回胴遊商理事長が来賓あいさつ、庄司会長の乾杯の音頭でスタートし、最近の業界情報などが活発に意見交換された。

て変わらなければならない。遊技産業活性化委員会で、幅広く勉強し、遊べる遊技機の充実などお客様にアピールしていくことが肝心だ」と訴えた。

第1部で、益子明子カームライフ代表が「あなたのホールを変えたい接客とは」と題して講演し、第2部では(有)JSSの高石隆一代表取締役が「ゴト犯罪に負けない、札幌共同戦線2014」と題して具体的なゴト対策を教授した。

会場には指定商社、業界関連企業など47社がブースを開き最新の情勢と自社製品をPRした。

第6回日遊協チャリティゴルフ

184人参加で熱いプレー

日本盲導犬協会へ60万円寄贈

公益財団法人日本盲導犬協会への活動支援のため、第6回日遊協親睦チャリティゴルフコンペ（大会会長・庄司孝輝会長、実行委員長・西村拓郎東京都・関東支部長）が10月30日、千葉県成田市、



スタート前、全員集合

太平洋クラブ成田コースで行われた。日遊協会員企業の関係者に加え、阿部恭久都遊協

理事長（全日遊連）、里見治日電協理事長、中村昌勇東遊商理事長（全商協）、伊豆正則回胴遊商理事長など関連団体の役員・組合員、さらに岡野圭子、中島世衣良の2女子プロの計184人が参加する大会イベントとなり、無風、快晴の絶好のコンディションの下、熱戦を繰り広げた。

「お気持ちを大切に」

終了後の懇親会で、集まったチャリティ募金60万1000円が庄司会長から井上幸彦日本盲導犬協会理事長へ手渡された。井上理事長は「皆様のお気持ちを大切に、浄財は視聴覚障害者の自立、社会参加に役立てます」とお礼の言葉を述べた。

優勝は池上典成氏

コンペの優勝は池上典成氏（株三都物産）（グロス73、ネット71・8）、準優勝は金井信夫氏（マルホン工業



井上理事長（右）へ庄司会長から浄財が手渡された

（株）（グロス102、ネット72・0）、三位は家永浩明氏（株峰尚商会）（グロス83、ネット72・2）だった。

その他の来賓は次の通り。

（順不同、敬称略）

- 榎本善紀（日工組副理事長）
- ▽橋高照忠（日電協常務理事）
- ▽成田茂（回胴遊商関東・甲信越支部長）
- ▽高山大成（同副支部長）
- ▽中島基之（PCSA専務理事）
- ▽栗原真（遊連協理事長）
- 松田洋（都遊協専務理事）

貯玉補償基金理事会

補償実施結果を確認

2015年版ポスター承認

一般社団法人貯玉補償基金（代表理事・庄司孝輝日遊協会長）は10月15日、日遊協本部会議室で第58回理事会を開き、2議案を審議した。

11月の行事予定

6日(木)	13:30~15:00	遊技産業活性化委員会（全商協）
	15:30~17:30	中古機流通協議会（全商協）
7日(金)	15:00~17:00	風営法PT
	15:30~17:30	社会貢献・環境対策委員会
10日(月)	14:00~	推進機構理事会（ホテルメトロポリタンエドモント）
	15:00~	推進機構臨時総会（ホテルメトロポリタンエドモント）
17日(月)	16:30~	不正対策室会議
	16:30~17:00	店長・管理職能力開発講習再試験（近畿支部）
18日(火)	13:00~15:00	遊技機検討WG
	15:30~17:30	遊技機委員会
20日(木)	11:00~13:00	正副会長支部長会議
	13:30~16:00	理事会
	16:30~	記者会見
	13:00~	遊技産業マネジメント・カレッジ（晴海グランドホテル）
21日(金)	~16:30	遊技産業マネジメント・カレッジ（晴海グランドホテル）
25日(火)	13:30~15:30	リサイクル推進委員会（日工組）
	16:00~17:30	流通勉強会
26日(水)	15:00~17:00	東京都・関東支部セキュリティー対策部会
27日(木)	10:00~12:00	遊技産業PRWG
28日(金)	14:00~17:30	新経営者会議

NOVEMBER

第1号議案として、東日本大震災により閉店した（株）ニラク「富岡店」に対する補償実施結果を確認し承認した。第2号議案は2015年版ポスター等作成の件で、デザイン、予算等を承認した。報告事項として、「貯玉補償基金加盟状況」「資金運用状況及び運用継続」「平成26年度上半期の決算報告」があった。

ラスベガス・シアトル研修2014

家族型、郊外型も魅力

カジノとパチンコ共存できる

★スターバックス1号店

「ラスベガス・シアトル研修2014」の一行38人は、9月26日午後4時ごろ成田空港から出発し、日付変更線を越えて同日朝、雨のシアトル空港へ到着した。シアトルといえばスタバ？ スターバックス1号店は1971年にシアトルで開業した。中心街のバイク・プレイス・マーケットにあるその1号店に駆け付けた。看板のロゴが見慣れたデザインとだいぶ違う。色調も緑ではなく茶色だ。1号店だけは開店当時のままのロゴとなっている。お土産に限定の豆を購入して、日本のそれとは一味違うかなと期待が膨らむ。

★「圧倒的」ボーイング社

中心街のにぎわいを抜け、バスはボーイング社へ向かった。航空機産業の大手の工場で、率直な感想は「広い」の一言。多くの従業員

員の努力の結晶が、あのボーイングになっているのだと実感するとともに、製造工程で日本の部品が多く使用されていると聞き、少し誇らしげな気分になった。

★マリナーズがリード

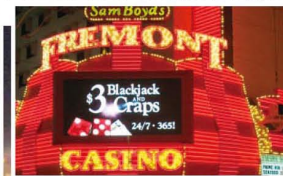
シアトルもう一つの楽しみは夜の大リーグ観戦。幸運にも岩隈投手が先発した！観客の熱気も最高潮でタオルの波が球場全体を覆い、鳥肌が立った。大リーグを目指す選手が理解できたような気がした（幼少の頃に体験していたら本気で目指していたかも）。

マリナーズが試合を優位に進めていたが、勝利の瞬間を味わいたい気持ちを抑え、明日からの夢の国「ラスベガス」に照準を合わせ、試合の途中で泣く泣く？スタジアムを後に…。

★夜は絶叫マシーンで

その夜は全員でダウンタウンへ

スターバックス1号店の看板 フリーモント通りのにぎわい。不夜城だ



移動だ。初めて踏み入れるラスベガスの霧囲気に圧倒されながらも全員で記念写真、さらに「ストラトスファイア」で絶叫アトラクションに挑むことになった。3種類のうち、私はビッグショット（タワーの最上部にある打上式フリーフォール）に挑戦。ラスベガスの素晴らしい夜景を楽しむ余裕もなく一瞬で恐怖の世界へ投げ込まれた。全てのアトラクションに挑戦する人、無理やり乗せられた人など様々でしたが、ここは非日常の都ラスベガス、高所恐怖症の人も自分を忘れるには是非オススメだ。



スロットマシンのコーナー。のんびりムードだ

★ビギナーズラックか

この勢いでホテルに帰って、生

まれて初めてのカジノ体験。手始めにスロットに挑戦したところ、ビギナーズラックでまずまずの成果を上げた。明日以降のジャックポットを期待しつつ、ラスベガス初日は終了となった。



マリナーズリードで盛り上がるツアーメンバーたち

三日目はいよいよ研修のメイン、カジノ巡り。ストリップ通りのカジノとは違い、集客力に劣る郊外型のカジノはそれぞれ特色のあるものばかりで、例えばハードロックカフェが経営母体のカジノは音楽好きにはたまらないコンセプト。超レア物のギターや衣装が展示され、併設されているホールではコンサートも開催していた。コンサートで気分が高揚したところでカジノに挑めば、負けても悔しくない？ ファミリー向けのカジノは、子供が遊ぶゲームにポリュウムがあ

り、「大人はカジノで子供はゲーム」。わずかなお金で遊べる単純なゲームがひしめき合っていて意外と大人でも楽しい。それでいて

賞品もド派手。参加者の一人は、特大ぬいぐるみケット（貫つたのはいいもののその処理には、困っていたようだ）。

また、郊外型で地元住民が利用するカジノはボウリング場や映画館も併設され、お客様も多くの地元の高齢者が昼間から楽しんでい

「本籍不記載」の10・17施行

警察庁、日遊協に府令改正通知

警察庁は10月17日、「風営法に基づく許可申請書の添付書類等に関する内閣府令の一部を改正する内閣府令の施行について」と題する通知を保安課長名で日遊協宛に送付し、同日付で改正内閣府令を公布・施行した。

またこれに伴い、風営法等の解釈運用基準第三十（従業員名簿について）の「1 従業員名簿」でも削除等の変更が行われた。「1 従業員名簿」の(1)で、「従業員名簿の記載については、雇用契約のある労働者に限るものではないが、労働基準法に基づく労働者名簿の記載により従

業員名簿に代替できる場合には、別に従業員名簿を作成することを要しない」としているが、これに続く記述「なお、労働者名簿には労働者の本籍が記載されないので、労働者名簿の記載により従業員名簿に代替できる場合においては、別紙等に労働者の本籍（外国人にあつては、国籍府令第二十一条）を記載することを要する」の部分が削除された。

既存名簿はそのまま 個人情報保護には留意

改正内閣府令でホールが該当する部分は第二十条関係。風俗営業店の経営者が風営法の求めに応じてつくる従業員名簿に関して、本籍（外国人の場合は国籍）記載の義務付けが削除された。改正案はさる8月22日に公示され、同日から9月20日まで一般から意見を公募した。

ホール関係5団体は、内閣府令の改正に関連して、「施行された場合、既存の従業員名簿（その従業員が退職した日から3年間保存）の本籍地記載はそのままでもいいのか。仮に過去に遡って本籍地記載を抹消すると

お願いを警察庁に行っていた。これについて警察庁は要旨次のような回答を口頭で行った。「従業員名簿に改正前に記載した本籍地が残存していても、風営法上は違反となるものではない。但し、改正前に記載された本籍・国籍は、改正後、運用上は不要な情報となることから、今後の取り扱いについては、個人情報保護法の趣旨に鑑み、無用な漏えい、目的外使用の防止のため、削除等の適切な措置を進めていただきたい」

内閣府令は1985年につくられており（当時は総理府令）、パチンコ・パチスロ業界ではかねてから「現在は一般的に履歴書に本籍地を記載しない。パチンコ産業でも必要とは思われない」として、風営法WG（ワーキンググループ）などを通して改正を要望していた。

なるのと多大の労力を費やすことにならるので、当分の間、従業員名簿での既存の本籍地記載と新規の未記載との混在を認めてほしい」旨の質問と

たり、RV専用の駐車場が用意されていたりと、ターゲットを的確に捉えた営業を徹底して実践していると実感しました。

★知らないうちに英語が

その夜はステキパーティーのあと、ルーレット、ブラックジャック、ポーカーなど、色々なテーブルゲームをあれこれ深夜まで楽しんで、高揚感に後押しされ気持ち大きくなると、隣に座ったお客さんに英語で話しかけられても知っている限りの単語を並べてフランクに会話できるほど、非日常の自分になっていました。

この研修を通じて感じたのは、日本のパチンコとの違いです。カジノは街全体で、様々なエンターテインメントを演出し。ホテル間での熾烈な競争から特徴を巧みに表現している。お酒を飲みながらゲームをしているのにもかかわらず、想像以上に治安は良好で、営業できている。それはそれで評価できるが、本質的にパチンコの良さとは違っており、日本にカジノが出来ても十分棲み分けることができると感じた。（松井裕二 JINET 管理本部総務部課長代理）

日遊協 皇居勤労奉仕団

皇太子殿下「毎年来られていますね」

日遊協皇居勤労奉仕団36人(団長・山口悟中部支部長)が9月30(10月3日の4日間、皇居及び赤坂御用地で奉仕活動を行った。日遊協の皇居勤労奉仕は2010年から始まり、今年が5年目となる。奉仕団一行はそろいの日遊協の



皇居桔梗門の前で記念撮影(10月2日)

キャップをかぶり、毎日午前8時に皇居の桔梗門(赤坂御用地では西門)に集合、同8時15分に皇居または赤坂御用地に参入し、約8時間、草取り、落ち葉掃除などの作業をして午後4時に退出した。初日の9月30日、赤坂御用地での奉仕では、皇太子殿下がご会釈をされた。殿下は「毎年来られていますね」とお尋ねになり、山口団長は「続けて来させていたいただいでいます」と答えた。

10月1〜3日は皇居での奉仕で、3日に天皇、皇后両陛下がご会釈にお出ましになった。天皇陛下が山口団長に「どういう団体ですか」とお尋ねになり、山口団長が「ホールや機械メーカーなどパチンコ関連企業が参加している全国組織です」と答えた。陛下が「全国ですか」と聞かれ、山口団長が「九州から北海道まで入っています」と答えた。

また、1日夕、有楽町のニュートーキョー数寄屋橋本店で団結の集いが開かれた。

参加者は次のとおり。

(順不同、敬称略、(株)略)

山口悟(京楽観光) (団長) ▽竹内慶隆(三京観光) (副団長) ▽池内祐二、岡本徹昭、大山輝、関雄一郎、大道直樹(千歳観光) ▽石橋寛子、古川一記(ピーアークHD) ▽榎本俊、高島雄太、安川進、田中千裕(日拓ホーム) ▽太田光宏、福田俊彦(三宝商事) ▽大谷国大(高尾) ▽田端明輝、三宅和希(サンキョー) ▽栗田健介(高橋建設) ▽小林将(JGコーポレーション) ▽小林友也、小林妙子(北電子) ▽内匠亮太郎(ジー・エー・エム) ▽富田祐輔、山田浩平(ボネール) ▽平沼優一(サミー) ▽馬宮正樹(東和産業) ▽松谷義明(ビクトリア観光) ▽光本龍平、渡邊敬亮、三富勇樹(京楽産業) ▽吉田侑加、吉田有彩(ニューブリッチ) ▽眞野年之、眞野みさを(中部支部) ▽松尾利光(本部)

店長・管理職能力開発講習

来年1月、東京で

日遊協は、来年1月に東京で行う店長・管理職能力開発講習の受講希望者を募集している。

店長・管理職能力開発講習は、ホールの店長や店長候補者、メー

カー、設備機器等の管理職の方々を対象に行われている。おもな講義は、業界の現状と将来展望、管理能力、マーケティング戦略、コンプライアンス、風営法等で、健全な経営に資する心構え・知識・技能等を身につけ、リーダーとして育ってもらえる内容となっている。講師陣は日遊協会員企業の経営幹部、管理職。日遊協会員以外の企業からの受講も歓迎する。会場によっては人事担当者等オプザーバーの傍聴も許可されている。

●2015年1月29日(木)
東京 日遊協本部会議室

午前10時開始、午後5時半終了。受講料は日遊協会員1万7200円、会員以外2万2450円。希望者は申込用紙に記入して日遊協事務局に申し込む。申込用紙は日遊協ホームページ、または「講習」チラシのFAX申込書で取り寄せられる。定員に達すると締め切る。

日遊協ホームページ

<http://www.nichiyukaiyo.or.jp/>

日遊協事務局

電話 03・3553・4333(代)

FAX 03・3553・4334

「国際嗜癮医学会」見学ツアー

海外研究者がパチンコ初体験

第16回国際嗜癮医学会（ISAM）年次学術総会が横浜市で10月2～6日に開催されたが、開会前日の1日、海外からの参加者のためにアルコール・薬物依存施設等に見学ツアーがあり、コースの1つに設定されたホールのピーアーク銀座（東京都中央区銀座）で、参加者たちがパチンコを体験した。

国際嗜癮医学会はアルコールや薬物依存、行動嗜癮を含めた嗜癮全般に関する国際学会で、各国の依存・嗜癮を専門とするトップレベルの研究者が参加している。今回の総会はパシフィコ横浜会議センターで開かれ、最新の研究成果について討論や発表が行われた。

依存対策施設など見学

見学ツアーはわが国の依存・嗜癮問題への取り組みを实地に視察してもらう目的で企画され、アジア、欧米からの研究者とその家族を含めた有志16人が、貸切りバスで参加した。コースは依存症回復施設2か所、依存症とそれによる精神疾患の専門病院1か所、それにパ

チンコの依存問題に関連してピーアーク銀座の計4か所が選ばれた。感想は率直「うるさい」

バスの中で参加者は約40分間、パチンコ・パチスロの歴史、賭博ではないという法律上のポジション等のレクチャーを受けた。ピーアーク銀座ではホールスタッフから遊び方を教わり、1人が代表してパチンコを打った。大当たりすると喜び、外れるとため息がもれ



初めてパチンコを打ってみた嗜癮医学会の参加者たち（ピーアーク銀座で）

一般のファンとリアクションは変わらなかったが、率直な感想は「音がうるさい」。

河本教授に質問連発

このあと、近くのピーアークホールディングス本社で、同行した河本泰信・国立病院機構久里浜医療センター精神科医長が改めてパチンコ・パチスロについて解説した。生まれて初めて見た遊技だけに、全員が理解するのに懸命。「勝つときの、スキル（技術）と運の割合は？」「企業として成り立つ仕組みは？」「機械の値段は？」「海外に進出したことはあるか？」などの質問が連発されていた。

インターネット広告協議会

協議会を「新体制」に
広く業界のネット広告監修

パチンコインターネット広告協議会（日遊協、凸版印刷株、IMC（株）で構成）が10月24日、日遊協本部会議室で開かれ、新しい協議会の試案が提示された。

日遊協では、ニフテイのパチンコ・パチスロの情報サイト「TIN@nifty」がこのほどホール情報サイトを開設したことから、そのガイドラインの監修を引き受けた。

現在ニフテイ側と自主ガイドライン等の相談に乗っているが、これを機に協議会の体制を変え、今後は広くパチンコ広告関連事業者のインターネット広告の監修にタッチし、業界全体の広告宣伝の健全化を推進することになった。

試案によると、新体制の名称を「パチンコ・パチスロにおけるインターネット広告協議会」とし、日遊協が推薦する理事、委員及び監修提携の広告関連事業者で構成する。監修提携は、協議会の趣旨に賛同する広告関連事業者を営む事業者及び団体とする。各社が自主ガイドラインをつくりたいという場合には、既に協議会が策定しているインターネット広告基準をもとに監修し、単なる法令順守にとどまらず、社会的な要請に対応した自主基準となるようにアドバイスをしていく。監修提携各社とは毎月個別に運営報告会を開催して、自主ガイドラインの監修・アドバイスを、ガイドライン運用状況の確認、遊技業の適正化・健全化に関する情報提供を行う。新体制案は11月の第4回定例理事会に提案され、承認されれば、12月からスタートしたいとしている。



◀記者会見で自主規制を説明する佐野慎一日電協副理事長（正面右から2人目）

日電協、日工組が自主規制

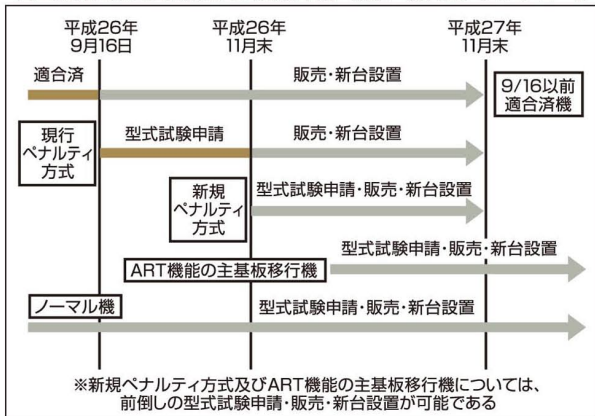
ART機能を主基板に 平成27年12月1日以降

日電協、日工組は10月3日、東京・東上野の日電協会議室で記者会見を開き、回胴式遊技機に関して、期限を定めてART機能を主基板に移行するとともに、ペナルティ機能のあり方を見直す旨の自主規制を発表した。

この自主規制により、来年12月1日以降の回胴式遊技機は主基板がすべてを制御し、周辺基板が出玉に関与しない機械となる。なお、いわゆるノーマル機はこの自主規制の対象外となる。

今回の自主規制は、警察庁がさる8月28日、日電協、日工組に対して行った、回胴式遊技機の型式試験等で散見される不適合事由の指摘と、これに伴う型式試験での試験方法の一部変更（9月16日以降）に応じた措置。警察庁が指摘した不適合事由は、①役物作動時の出玉率が通常時より下回るもの②客に不利益となる指示機能を有するもの③客が遊技の結果を誤認するおそれのある演出——となっており、また型式試験に関しては、いわゆるペナルティを利用して通常ペースを低く設計し、消費ペースが早い遊技機が散見されるとして、最低の出玉率（55%）の試験を行う試験試験においてART中も出玉率が最低となる打ち方で行うように一部変更すると説明していた。

自主規制に係る遊技機の型式試験申請・販売・新台設置スケジュール



現行ペナルティ方式の規制

日電協、日工組の自主規制の内容は次の通り。

一、ART機能を主基板に移行してない遊技機の販売・新台設置期限は平成27年11月末とする。従って同年12月1日以降は、いわゆるノーマル機及びART機能を主基板に移行した遊技機しか販売・新台設置できない。

ART機能を主基板に移行した遊技機にあつては、ペナルティ機能を搭載しない。

二、現行ペナルティ方式の型式試験申請期限は平成26年11月末とする。この間、公平性を担保するため、型式試験申請は1メーカー、1シリーズのみの2型式まで（2型式の同時申請可）とし、平成26年9月16日以降に申請されたものはすべてこの2

日本遊技関連事業協会 NICHYUKYO

私たちは節度を保ち、常に社会との調和に心を配ります。

日本遊技関連事業協会は東日本大震災発生以来、被災地へのボランティア支援活動を行ってまいりましたが、防災林復旧の「みどりのきずな」プロジェクトに参加する等、引き続き支援活動を続けてまいります。被災地の一日も早い復興をお祈りいたします。

店長・管理職能力開発 講習・試験のご案内

遊技機取扱主任者 講習・試験のご案内

店長・管理職能力開発 Q&A

遊技機取扱主任者 Q&A

共生の森で「子ども自然塾」開催

日遊協 ホームページ 更新情報

「日遊協」で検索！

型式のうちに含まれるものとする。ちなみに、型式試験方法のうち試験については平成26年9月16日以降変更済みの方法で行われることに留意する。

本件適合機の販売・新台設置は、第1項に従って平成27年11月末までとする。

三、平成26年12月1日からはすべて新規ペナルティ方式で型式試験申請を行う。これについては、次の客へ影響を与えないルールを検討中である。

本件適合機の販売・新台設置は、第1項に従って平成27年11月末までとする。

四、平成26年9月16日以前に適合済みの遊技機の販売・新台設置についても、第1項に従って平成27年11月末までとする。

セキュリティ対策委員会

3委員会再編案を提示 「遊技機安全 合同協議会」

第81回セキュリティ対策委員会（委員長・山田久雄日遊協副会長）は10月28日、日遊協本部会議室で開かれ、懸案となっている同委員会、中古機流通協議会、遊技機リサイクル推進委員会の3組織の再編案が提示された。

案によると、全体を「遊技機安全合同協議会」（仮称）とし、「遊技機が『ゆりかごから墓場まで』適正かつ円滑に流通するため、業界の主要団体が諸課題を総合的に検討協議し、必要な対策を確立していく」ことを目的とする。組織の基本的構成は、合同協議会の傘下に3委員会（中古機流通、リサイクル推進、セキュリティ対策）を置く。合同協議会の長に合同委員長が、3委員会にも担当委員長がそれぞれ置かれる。3委員会の委員は同一として、実質的に一体化を図る。各事務局は担当委員長の出身団体が務める。部会（PSIO、リサイクル選定業者部会）を現在の委員会の下に置く。

運営形態は、合同協議会は基本



3組織の再編案が提出されたセキュリティ対策委員会

的に2か月に1回定例開催する。合同委員長の司会のもとに、各担当委員長からの報告事項を報告した後、審議予定事項の審議を行う。必要により、WG（ワーキンググループ）を合同協議会の決定で設置する。この案に対していくつかの意見

が出たため、さらに手直しして他の2委員会（中古機流通、リサイクル推進）にも諮る。最終的には、関係する7団体（全日遊連、日遊協、日工組、日電協、全商協、回胴遊商、自工会）のトップ会談で決めることを確認した。

また、警察庁保安課からサブ基板の交換に関して違法行為が目立つとの指摘があった。「本来は変更承認申請が出された後に部品交換が行われるが、申請しなかったり、交換後に申請が出されるなどの事例がかなり多く聞かれる。これは違法行為に間違いがない。この点の徹底をお願いしたい」と強い口調で述べた。

PSIO・不正対策室会議 昨年並みの604件

不正対策室会議（室長・伊東慎吾日遊協常務理事）は10月22日、日遊協本部会議室で委員ら13人が出席して開かれ、PSIO（不正対策情報機構）への入力状況の報告を行い、ゴト・不正情報について協議した。

2014年9月のPSIOオープンネット（業界及び一般ファンからの不正情報）は651件。業



不正情報について協議する不正対策室会議

界から45件、一般ファンから606件の入力があり、2013年9月と比べると4件（2013年9月602件）の微増で、昨年並みレベルとなった。

ゴトに関しては、パチンコで玉掛かりなどローゴトの報告が相変わらず続いている。不正情報では、遠隔操作だと主張するものが圧倒的に多いのは変わらず、顧客の誤解によるものも多い。以下、不正改造、店員の不正、誇大広告、計数機・サンド関係の順で入力情報が並ぶ。

同友会が20周年記念式典

「新しい価値観を創造」

松田高志代表理事が決意表明

一般社団法人日本遊技産業経営

者同友会は10月15日、東京都千代田区のグランドアーク半蔵門で「創立の熱き志とともに、未来へ」と題して創立20周年の記念式典を開催した。

冒頭あいさつに立った松田高志代表理事は、パチンコ産業関連団体など来賓と会員など約700人の参加者を前に次のように決意を述べた。



シヨンからくる」と題して講演し、第二部では全日遊連、日遊協、日工組、日電協、同友会のトップが一堂に会し「パチンコ・パチスロの未来」についてパネルディスカッションを行った。記念式典のあと記念祝賀会が開かれ、産業界の友好を温めた。

協力してくれた関係団体等に送付した。「第2回クリーンデイ・地域清掃の日」は9月9日、九州支部に加えて九遊連（ホール）、九遊商、回胴遊商九州支部、さらに日遊協6支部から計2894人が参加し、全国487か所での大掃除となった。



同友会20周年を祝ってあいさつする庄司日遊協会長

「創立時は27社だった私たち同友会

は20年の成人式を迎え124社の会員、賛助会員を擁する組織に発展してきた。今日の式典が、新しい価値観を創造するスタートとしたい。産業界の1500人にも及ぶ経営者の意識改革こそが発展の要だ。現在の危機的状況の中で自社の利益だけにこだわり、乗るかさるかの方針でいいはずがない。我々は産業を愛し世界に誇れる文化を作るために走り続けたい」。

警察庁生活安全局保安課の大門雅弘課長補佐が楠芳伸課長の「講話」を代読し、庄司孝輝日遊協会長が来賓を代表して祝辞を贈った。創立以来、同友会に全面的な協力を続けてきたジャパネットウオークシステム(株)、グローリーナスカ(株)、大都販売(株)の3社に感謝状を贈って式典を終えた。

この日、式典に先駆けて第一部として吉田ソース、吉田潤喜会長が「本物の戦略は100%のパッ

同友会創立20周年に当たり決意を述べる松田高志代表理事

9・9ポスターが完成

九州支部は9・9クリーンデイの活動報告と協力お礼を兼ねたポスター（写真）を制作、10月10日、

今回、九州支部は「日本縦断大掃除！どこまで行けるの!？」をテーマに取り組んだが、参加者1人が500m清掃したとしてその距離をつなげると1447kmとなり、鹿児島市からスタートして国道3号線、同2号線、同1号線経由で神奈川県茅ヶ崎市近郊まで達したことになる。

9.9 CLEAN DAY 活動報告

2014.9.9 CLEAN DAY

ご多数様のご参加、ご協力ありがとうございました。

クリーンデイ活動結果

【実施箇所】	【活動人員】	【清掃距離】
487箇所	2,894人	1,447Km

*1人500m換算



東京部・関東支部役員会

「コンペ」の最終確認

9・9大清掃の結果報告

東京部・関東支部役員会議が10月24日、本部会議室で開かれた。10月25日に共生の森（埼玉・嵐山町）で開催される「子どもも自然塾」、30日に千葉・太平洋クラブ成田コースで開催される親睦チャリティゴルフコンペの、それぞれ参加状況などの最終確認を行った。「子どもも自然塾」には東京都・関東支部から24、25日の2日間にあわせて12人のボランティア隊員が派遣され、イベント前日の危険箇所チェック、当日の会場整理等の活動にあたった。

九州支部が主催した「9・9クリンデイ大掃除の日」への東京都・関東支部からの参加結果が報告された。東京都、神奈川県内71か所で364人が参加し229・4kgのゴミを集めた。

9月30～10月3日の「皇居勤労奉仕活動」（団長・山口悟中部支部長）の実施結果が報告された。皇居及び赤坂御用地で行われ、会員・家族36人が参加した。

北海道支部

20人参加でデモ行進

「暴力追放総決起集会」

約12000人規模の「暴力追放総決起集会」（主催・公財）北海道暴力追放センター、札幌地区暴力追放

センター協議会）が10月9日、札幌市の中島公園広場で開かれ、日遊協北海道支部から20人が参加した。北海道警察音楽隊・カラーカード隊を先頭に中島公園から大通公園までの1・2kmをパレードし暴力追放を訴えた。

東北支部

第2回ゴルフC開催

日遊協東北支部は10月14日、宮城県の高谷カントリークラブで第2回支部ゴルフコンペを開催し、会員、関係団体、商社など32人が参加した。白石良二日遊協理事を来賓に迎えたコンペは、台風19号の影響で開催が危ぶまれたが天候が急転し秋晴れのなか行われ、10月に新会員になったばかりの（株）シンプルエアサービスの佐藤和也代表取締役社長が優勝した。

中部支部セキュリティ対策部会

型式試験の申請など

中部支部セキュリティ対策部会が10月7日、名古屋市のアイリス愛知で開かれ山口悟支部長、内ヶ島隆寛部会長以下23人が参加し、中部遊商の船戸良徳セキュリティ対策委員長も出席した。

ゴト報告としては、玉掛かり、持ち込みゴトに関したものが数例あっただけであったが、回胴式遊技機の型式試験申請に関する自主規制に関して詳しい報告に基づき協議が行われた。

会員・業界消息

●会社移転

▼チエックワールド株式会社
東京都文京区本郷2・35・10
本郷瀬川ビル5階
（電話・FAX番号変更なし）

●代表者変更

10月14日
▼大鵬レジャー産業株式会社
代表取締役・津末法良
10月1日

DATA SPOT

貯玉補償基金加盟状況

	店舗数	前月比
北海道	260	+1
東北	579	0
東京	603	+1
関東	1720	+1
中部	556	+4
近畿	957	+8
中国	317	-2
四国	161	0
九州	652	+1
全国計	5805	+14

(2014年9月30日現在)

パチンコ機減、パチスロ機微増が続く

全日遊連は10月21日、店舗数、遊技機台数の2014年9月分を発表した。店舗数は8月と比較してマイナス32店舗、1万714の店舗数は年間ベースだと昨年9月（1万994店）と比べて、この1年間280店舗マイナス。今年度に入ってから前年比で低下傾向はより強くなりマイナス300店舗に近づいている。

遊技機では、パチンコが1年間でマイナス5万9047台（昨年9月276万2085台）と下がり、一方パチスロ機はプラス2万5270台（昨年9月147万669台）と相変わらず前年を上回っているものの先細りが続いている。パチンコ・パチスロの総台数では昨年11月から前年比マイナスに転じたまま、9月はマイナス3万3770台となり前年比減は11か月目に入った。<注>店舗数、及び遊技機台数は各月の末日現在の数。表中の「その他」はアレンジボール、じゃん球、スマートボールを意味する。

全日遊連加盟店舗数・遊技機台数

平成26年	営業店舗数	新規店舗数	廃業店舗数	休業店舗数 (当月発生分)	遊技機台数			総台数
					ぱちんこ遊技機	回胴式遊技機	※その他	
1月	10,948	18	18	105 (12)	2,761,076	1,482,689	156	4,243,921
2月	10,906	5	37	113 (16)	2,752,003	1,481,748	156	4,233,907
3月	10,858	13	55	113 (22)	2,740,351	1,483,983	156	4,224,490
4月	10,847	24	30	115 (13)	2,734,689	1,488,842	156	4,223,687
5月	10,825	18	33	125 (19)	2,730,577	1,492,880	156	4,223,613
6月	10,791	3	35	124 (15)	2,719,698	1,493,101	156	4,212,955
7月	10,766	16	39	127 (12)	2,724,278	1,494,117	156	4,218,551
8月	10,746	21	44	121 (16)	2,708,717	1,495,631	156	4,204,504
9月	10,714	10	34	138 (23)	2,703,038	1,495,946	156	4,199,140

全般的業況はやや良化

「マイナス圏」は12期連続に

(株)エンタテインメントビジネス
 総研はこのほど、第58回パチンコ
 景気動向指数(DI)調査報告書
 (7～9月)をまとめた。収益・売

上・粗利など全般的業況はマイナ
 ス24・2ポイントで前回より11・
 8ポイント良化した。第47回調
 査(一昨年10～12月)以降12期連

続でマイナス圏にある。3か月後
 の見通しもほぼ横ばいのマイナス
 圏が見込まれている。(表1)
 事業規模別では、小規模事業者
 (1～3店舗)がマイナス35ポイン
 ト(前回より7・1良化)、中規模
 事業者(4～10店舗)がマイナス
 26・7ポイント(同16・1良化)、
 大規模事業者(11店舗以上)がマイ

ナス14・8ポイント(同14・
 4良化)と全事業者で改善
 が見られた。3か月後の見
 通しは、大規模事業者がプ
 ラス圏まで回復する一方、
 小規模・中規模事業者は悪
 化が見込まれている。

表1 全般的業況(事業者全体)

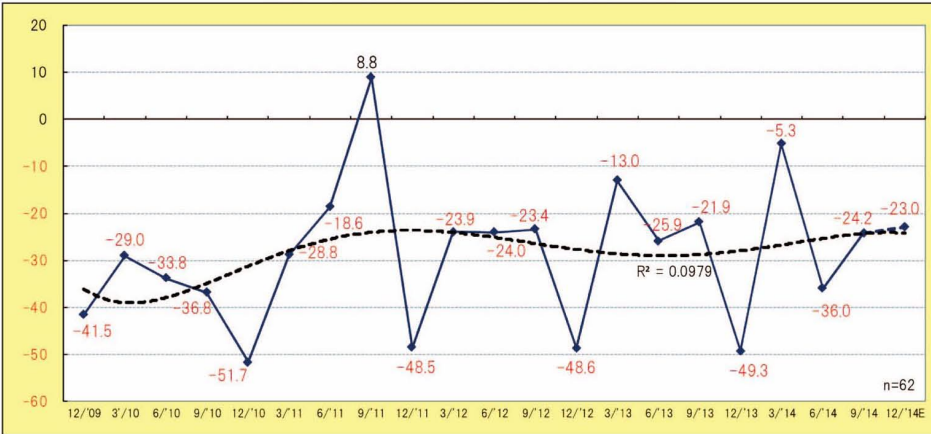


表2 稼働状況(パチンコ・パチスロ別)

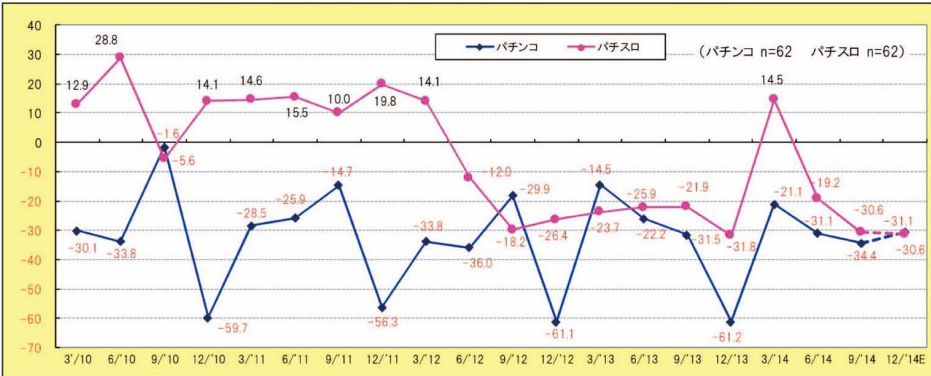
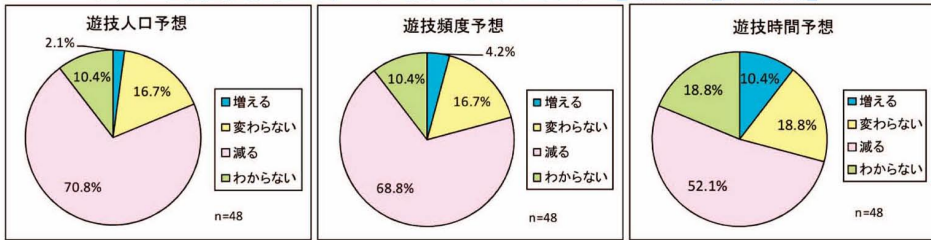


表3 試験変更に伴う遊技の変化「人口」「頻度」「時間」



「4円」がやや持ち直す
 パチンコ、パチスロ別で
 は、パチンコの稼働がマイ
 ナス34・4ポイント(同3・
 3悪化)と前回より少し落
 ち、パチスロもマイナス
 30・6ポイント(同11・4悪
 化)と2期連続で落ち込ん
 だ。(表2)
 貸玉(メダル)料金別の稼
 働では、4円パチンコがマ
 イナス47・5ポイント(同
 5・2良化)、20円パチス
 ロがマイナス41・9ポイン

ト(同13・1悪化)だった。両者と
 も3か月後はやや回復が見込ま
 れている。一方、低貸パチンコはマ
 イナス1・7ポイント(同3・1悪
 化)、低貸パチスロもマイナス
 5・5ポイント(同2・4悪化)だ
 った。両者とも3か月後はプラス
 圏に転じると予想されている。

試験変更の「影響大」

パチスロ型式試験が9月16日以
 降変更され、射幸性の下がった機
 械だけになった場合、パチスロ稼
 働への影響を遊技人口、遊技頻度、
 遊技時間の3点で質問したところ、
 いずれも「減る」との回答が半数
 以上を占めた。ちなみに人口は71
 %、頻度は69%、時間は52%がそ
 れぞれ「減る」と答えた。その場
 合、現行のA T機、A R T機の受
 け皿については、「パチンコ・パ
 チスロが同程度」が56%と過半数
 を占め、「パチンコ」が25%、「パチ
 スロ」19%で、総じてパチンコへ
 のシフトが考えられている。それ
 に関連して力を入れたいスペック
 は、パチンコでは「通常貸しM A
 Xタイプ」が90%と圧倒的に多く、
 パチスロは「通常貸し新基準A
 T・A R T機」55%という結果に
 なった。